初級編

第12講 if-elif-else 文

要点整理

if-elif-else 文

複数の条件を順番に評価し，最初に True となる条件のインデントされたブロック内の処理を実行する制御構文。

```
if 条件式1:
  条件式1がTrueの場合に実行する処理
elif 条件式2:
  条件式1がFalseで，条件式2がTrueの場合に実行する処理
else:
  すべての条件がFalseの場合に実行する処理
```

```
x = 12
if x > 10:
  print(x, 'は10より大きい')
elif x == 10:
  print(x, 'は10に等しい')
else:
  print(x, 'は10より小さい')
```

実行結果

```
12 は10より大きい
```

初級編　第 12 講　確認問題

次のプログラムの実行結果として最も適切なものを，あとの①～④のうちから一つ選びなさい。

```
x = 10
if x < 10:
  print(x, 'は10より小さい')
elif x == 10:
  print(x, 'は10に等しい')
else:
  print(x, 'は10より大きい')
```

① 何も表示されない

② 「10 は 10 より大きい」と表示される

③ 「10 は 10 より小さい」と表示される

④ 「10 は 10 に等しい」と表示される

初級編　第 12 講　確認問題　解答

正解：④

解説：

if-elif-else 文では，上から順番に条件を評価していき，True となった条件のインデントされたブロックの処理を行う。ここでは，x には 10 が代入されているため，elif 条件式に当てはまり，elif ブロック内の処理が実行される。

```
x = 10
if x < 10:
  print(x, 'は10より小さい')
elif x == 10:
  print(x, 'は10に等しい')
else:
  print(x, 'は10より大きい')
```

実行結果

```
10 は10に等しい
```